バイオマス資源を活用したSAF地産地消モデルの構築へ向けた調査・実証事業

(申請者) 成田国際空港株式会社

■事業の概要

〔事業目的〕

- SAFの導入促進は航空分野において脱炭素化に大きく寄与する必要不可欠な取り組みであり、SAFの国内製造が開始されていく中で更なる導入促進に向けた検討をすすめていく必要がある。
- SAFサプライチェーンの構築に向けては、原材料の確保が課題であり、様々な原材料の利用を広げていく必要がある。そこで、成田空港周辺の騒音対策用地の農地を活用したバイオマス資源を利用したSAFの地産地消モデルについて実証実験及び調査を行う。

〔事業内容〕

- 成田空港周辺の騒音対策用地活用によるバイオマス資源の活性化へ向けた実証実験
SAFの地産地消モデルの構築へ向けて、SAF製造の原料として、利用拡大へ向けた可能性について検証するため、空港周辺の騒音対策用地の農地を活用し、ソルガム栽培からバイオエタノール製造の実証実験を実施する。
- SAF導入促進策の調査
上記の実証実験を踏まえて、ソルガムを活用したSAFサプライチェーン構築における製造量やコスト検討、ソルガム栽培、バイオエタノール製造、バイオエタノールからSAF製造の各過程における技術的な調査や課題検討を実施する。また、地産地消でのサプライチェーン構築の可能性を評価するため、ソルガム以外のその他バイオマス資源についてもSAF原料としての生産可能性及び千葉県内全体での拡大可能性における調査を実施する。

〔期待される効果〕

- 千葉県のバイオマス資源を活用した地産地消によるSAFの製造
- 千葉県内の耕作放棄を含む農地の利活用